

巻頭言

東日本大震災に被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

深瀬 和文

今回、東日本大震災に見舞われた方々の一刻も早い復興を心からお祈り申し上げます。

丁度1年前に東京の総会で障害者による災害時の対応という講習を受けました。

1つは災害時における電源の確保、これは前にも触れたと思いますが車のバッテリーを使って電源の確保をするという方法です。人工呼吸器では生命に関わる問題ですから災害時にどのように電源を確保するか今から考えていた方がよいと思います。

2つ目はマンパワーの確保、ことわざで遠い親戚よりも近くの隣人と言いますがやはり災害時に頼りになるのは隣近所だと思います。常日頃から近所付き合いをしていた方がよいと思います。うちの場合、町内会と連携をとって災害が起きた時にだれが家に駆けつけるか話し合いを設けてくれました。一応町内会では高齢者に対する避難の計画はしていますが障害者に対する避難の計画はしていなかったのをこれを機に計画していくと言ってくれました。

それと消防署と連絡をしておいた方がよいと思います。この前消防署の人達がうちに来て病院の搬送先とALSと言う病気の事を聞きに打ち合わせに来ました。消防の人は前もって話が聞けたので救急隊がどう対処したら良いか分かり助かると言っていました。

それにうちでは自家発電や携帯型ストーブ、ランタンなど非常用に準備しています。みなさんも転ばぬ先の杖ではないですけれどある程度準備をしておいた方がよいと思います。

話は突然変わりますが支部長になってもう1年になります。1年間、力のない支部長を支えて下さいました役員や会員の皆さまありがとうございます。来年も支部長と言う役職を力いっぱい頑張りますので皆様どうか宜しくお願いします。